

アジサイの見頃が5月からになったり
今年も季節が足早に通り過ぎていきます。
留学生にとっては家族が恋しくなる季節
私たちもゆとりをもって接したいものです。

◆ 日本語教育推進議員連盟 第10回総会を傍聴

3月に開いた理事会・総会で、日本語教育推進議員連盟の 馳 浩事務局長にいま国策として進められている「日本語教育推進基本法（仮称）」制定への動きについて講演して頂きました。その日本語議連の第10回総会が、5月29日（火）10:00から参議院議員会館で開かれました。



この日は 河村 建夫会長、中川 正春会長代行、馳 浩事務局長始め超党派の議員の皆さんが参列し、衆議院法制局から「日本語教育推進基本法案（仮称）政策要綱」に関する説明がありました。

【添付資料1】

これから具体的な条文作りの作業に入るとの事ですが、政策要綱の末尾に「検討」という項目があり「国は、日本語教育機関に関する制度の整備について検討を加える」として、イから二までの4項目を挙げています。ここが、今後日本語教育の質を高めるために重要なポイントであると考えられます。全専日協としても、会員の声を集約し前向きに提言をしていきたいと思います。

◆ 新たな連携会員が静岡から参加

新たに会員になってくれた「[浜松日本語学院](#)」の、竹下知宏校長に電話でお話を伺いました。

浜松日本語学院では、専門学校や大学への進学をめざし、現在、21か国の留学生が日本語を学んでいるそうです。そして、進学後も地元の企業に就職・活躍することを念頭に、地域の教育機関や企業と連携を行っているとのことでした。そのため、仕事に生かせる日本語を身につけてもらうためにはどうすればいいかということを中心に考え、工夫し続けているというお言葉が印象的でした。

外国人の集住都市である浜松。その地元から寄せられる大きい期待に応えようと日々努力をなさっている浜松日本語学院さんは全専日協の大きい力になってくださることと思います。

ホームページ：<https://www.hama-jlc.com/>

◆ 今後の予定

- 執行役員会・・・6月11日（月）10:30～12:00（文化学園）
 - 理事会、総会・・・6月29日（金）13:00～（同上）
- *詳細については5月30日に事務局からメールしてあります。

*今回、総会企画には2つの講演を準備しています。



① 「在留資格認定に関する最近の状況と課題」

法務省に新しい動きについて話して頂きます。学生対策委員会の志村先生から、事前質問のアンケートが届いていると思います。日頃の疑問解消に、この機会を是非ご活用ください。

② シリーズ「私と日本語教育」

全専日協が新しいスタートを切って1年になりますが事務局としては「教育の質の向上」「情報の共有」を合言葉に、改めて足場を見つめ直す時かと考えてきました。そこで副会長をはじめ理事の皆さんに順に思う



所を語って頂くシリーズを企画しました。1回目は、協会の発足当時から活動してきた深堀副会長に依頼しました。スタート時の志、協会の沿革、これからの受け継ぐべきもの等について、私たちが知らない話なども含めて伺えると思います。楽しみにお待ちしております。

◆ 全学日協 第2回セミナー開催

連携会員の長沼一彦先生が代表理事を務める 一般社団法人 全日本学校法人日本語教育協議会（全学日協）から、第2回セミナーの案内をいただきました。「私たちが日々悩んでいるテーマにスポットをあてたセミナーなので、全専日協の会員の皆さんもぜひご参加ください」とのことです。

【資料添付2】

- 日時：2018年7月6日（金）17：00～19：00
- 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
- テーマ：「学習意欲のない学生にどのように対応すべきか
～あなたのスイッチはどこに？～」
- 参加費：無料
- 申込方法：以下の内容を **6月10日までに**
nishimura@bunka.ac.jp（西村）までお送りください。



全学日協 第2回セミナー 参加希望
機関名：
氏 名：
職 種：教員 ro 職員

- **事前アンケート**：以下の URL にアクセスしてご回答ください。
学習意欲の低い「ある学習者」をイメージするために現場の学習者の様子を把握したいとのことです。他の目的ではその結果は使用しないそうです。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf-X7bJquIeVWPo1Khm-1e_0uYwfZZrvvsl00MEqNsQsBsvGg/viewform?usp=sf_link

2018年6月5日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当